

アンケート結果にみる授業の成果と課題（令和2年度）

教職臨床特支系（教育臨床講座）・山田 誠

1. 授業の概要

（1）受講者

本授業「子どもと大人の学びの支援」は、学校教育教員養成課程初等教育コース小学校サブコースのコース科目（選択科目）である。登録学生数は15名で、内訳は、2年次生8名、3年次生7名であった。

（2）授業の目的・到達目標

本授業の目的は、まず、生涯学習を支援するための基礎的知識を身につけ、とりわけ大人（成人期）の学びの支援について、子どもの学びの支援と対比させ、関連付けながら理解することである。また、各教育部門の取り組みにおいて、子ども期から成人期へと、生涯学習者としての成長をどのように支援することができるかを考えることができるようになるということである。

授業の到達目標は、次の4項目である。

1) 生涯学習、生涯教育に関する基礎概念、及び生涯学習関連施策の動向を把握し、説明できる。

2) 学習支援の基礎理論及びアンドラゴジーの原理について理解し、説明できる。

3) 生涯学習者としての成長や自己主導的学習の支援について理解し、説明できる。

4) 学校教育や社会教育等、各教育部門の特質を把握し、各部門において生涯学習者としての成長の支援にどのように取り組まれるべきかを主体的に考え、論述することができる。

（3）関連するディプロマ・ポリシー（DP）

本学部の卒業時の到達目標（DP）のうち関連する項目は、「教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。（知識・理解）」を想定している。

（4）授業の方法・形態

基本的には教科書・配付資料や板書を用いた講義形式中心の授業であるが、発問や受講者の意見発表を一部取り入れた。加えて、受講者との双方向性を確保するとともに、受講

者における授業内容の理解・定着や思考の深化を促す手立てとして、毎回授業の最後に、コメント（振り返り）カードへの記入を求めた。また、授業時間外に教科書を読んで学んだことや図書館等を利用した自己学習・発展的学習を行った成果をコメントカードに記入・報告することを奨励するとともに、その記述内容も評価の対象とすることを伝えている。

なお、今年度、新型コロナウイルス感染拡大のため、後学期開講の本授業は、感染防止対策を取って許可を受け、対面授業でスタートすることができたものの、年明けからは一部の授業を除き遠隔形式での授業が求められ、本授業も第12回以降、Moodleを利用した遠隔非同期型での実施となった。

2. アンケート結果

最終15回目の授業のなかで、授業全体を振り返っての、受講者による授業評価アンケートを実施した。アンケートは、無記名で、4段階評価形式の質問が4項目9問と自由記述形式の質問が2問である。受講者10名から回答を得られた（Moodleに提出）。以下、アンケートの結果を示す。なお、今年度の結果に添えて、前年令和元（2019）年度の結果を、4.～1.の段階順に数値（%）のみ記載する。

【授業の内容に関する質問】

1-1. [関心・興味] この授業で取り上げられた事柄について、関心・興味がわいた。

4. そう思う：5名（50.0%）

3. まあそう思う：5名（50.0%）

2. あまりそう思わない：0名（-）

1. そう思わない：0名（-）

（2019年度：9.1、81.8、9.1、-）

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた肯定的回答の割合が100.0%であった。前年度アンケートでの同じ質問に対する肯定的回答は90.9%であり、多少向上している。

【授業担当者の授業方法に関する質問】

2-1. [わかりやすさ] 教員の説明の仕方はわ

かりやすかった。

4. そう思う：5名 (55.6%)
3. まあそう思う：4名 (44.4%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

* 1名が無回答

(2019年度：18.2、72.7、9.1、—)

2-2. [教材等の使用] 教科書、プリント、黒板(ホワイトボード)等の使い方は効果的だった。

4. そう思う：5名 (50.0%)
3. まあそう思う：5名 (50.0%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

(2019年度：27.3、45.5、18.2、9.1)

2-3. [コメントカード] 毎回コメントカードを記述することが、授業内容について振り返るとともに、理解や考えを深めるのに役立った。

4. そう思う：5名 (50.0%)
3. まあそう思う：5名 (50.0%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

(2019年度：45.5、45.5、9.1、—)

授業方法に関する上記3つの質問に対する肯定的回答は、いずれも100.0%である。前年度の同じ質問に対する肯定的回答は、順に90.9%、72.7%、90.9%であり、いずれの質問についても改善している。

【地域社会における教育活動についての関心・理解に関する質問】

3-1. [理解の進展] この授業を通して、社会教育活動(公民館、博物館(学芸員)、社会教育主事、PTA等)をはじめ、地域の教育・ボランティア活動(学校教育支援、家庭教育支援、学校・家庭・地域の連携・協力等)についての理解が深まった。

4. そう思う：6名 (60.0%)
3. まあそう思う：4名 (40.0%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

(2019年度：27.3、72.7、—、—)

肯定的回答が100.0%と好ましい結果であった。昨年度も同じ質問に対する肯定的回答

は100.0%であったが、その内訳は、「そう思う」27.3%、「まあそう思う」72.7%で、今回の方が、「そう思う」の割合が高くなっている。

3-2. [情報の提供] この授業で提供された、地域の教育・ボランティア活動や関連イベント(地域教育中予ブロック集会等)に関する情報は、興味・関心を持たた。

4. そう思う：1名 (10.0%)
3. まあそう思う：8名 (80.0%)
2. あまりそう思わない：1名 (10.0%)
1. そう思わない：0名 (—)

(2019年度：9.1、54.5、27.3、9.1)

肯定的回答が90.0%であった。昨年度の同じ質問に対する肯定的回答は63.6%であり、今回の方が高くなっている。しかし、「そう思う」の割合は、前回同様低くなっている。

【授業全体に関する質問】

4-1. [得るものがあったか] この授業により、考えが培われたり、得るところがあった。

4. そう思う：9名 (90.0%)
3. まあそう思う：1名 (10.0%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

(2019年度：27.3、72.7、—、—)

4-2. [目的・目標達成度] この授業の目的・目標は達成された。

4. そう思う：5名 (50.0%)
3. まあそう思う：5名 (50.0%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

(2019年度：9.1、81.8、9.1、—)

4-3. [満足度] この授業は全体として満足のいくものだった。

4. そう思う：6名 (60.0%)
3. まあそう思う：4名 (40.0%)
2. あまりそう思わない：0名 (—)
1. そう思わない：0名 (—)

(2019年度：18.2、54.5、27.3、—)

授業全体に関する評価について、上の3つの質問に対する肯定的回答は、いずれも100.0%である。前年度の同じ質問に対する肯定的回答は、順に100.0%、90.9%、72.7%

であり、「そう思う」の数値がいずれの質問でも上昇していることを考慮すると、今回の方が向上していると言えよう。

【自由記述】（抜粋）

1) この授業を通して学ぶことができたこと、考えが培われたことは、どのようなことですか。

・教育＝学校で行うものという印象がどうしても強くありましたが、教育制度論などに関連して、社会教育の重要性などについて興味をもつことができました。

・今まで生きてきた中であまり考えることのなかった生涯学習について理解を深めることができた。

「学習＝学校教育で行われる」というイメージが今までは自分の中にあったが、この授業を通して学校教育に限らず、成人してからも学習する場がたくさんあるため、成人して仕事をし始めてからも学びたいことを実現することができるということをもっと社会に広げていく必要があると授業を受ける中で思った。

・生涯教育について未知であったため、生涯教育に関する基礎概念や生涯学習関連施策について学ぶことができた上、アンドラゴジーとペダゴジーの対比を踏まえて理解することが出来た。

・この授業を通して、生涯学習の歴史や教育における課題・解決策などについて学ぶことができた。その中で、学習の意義や生涯学習の中の学校教育の位置などについて考えが深まった。このような考えを重ねることで、教師としての学校教育での役割や大学生である私たちができることについて考えが改まった。また、世の中に設置されている社会教育施設の詳細についても知ることができ、実際に自分もそれらの施設を利用してみたいという意識を持つことができた。そしてこれらの施設と学校教育の関わり方について、様々な案を出すことができた。

・生涯学習の理念を基に、授業名の子どもと大人の学びの支援について、その在り方や違い、また学校教育、その後の教育及びその機会拡充など、生涯にわたる学びをよりよく、より浸透発展させていくことを考えることができた。

2) 授業でよかった点、あるいは、こう改善するとよいという指摘など、自由に記述してください。

・授業の初めに先生が、前回の復習をしっかりとしてくださるので、理解が促進されて良かったです。コメントカードを書く時間をもう少し早めるとよいと思いました。

・自分以外の受講生の方々が毎回の授業の内容についてどのような考えを持っていらっしやっただかが気になりました。意見交換などをしてみたいと思いました。

・教科書だけではなく、プリントなどの参考資料があつて分かりやすかった。

・教科書やプリントの内容だけでなく、資料を挟んで授業をしてもらうことで理解がしやすかった。

・授業資料、テキストはすごく適したものでありわかりやすいと感じました。具体的な事例についてもっと知りたいと思ったので、映像を使ったり、専門の方のお話を聞く機会があればよいと思います。

3. 総括

まず、4段階評価による回答結果については、概ね肯定的な評価が得られていた。また、前年度との比較においても、全般的に向上が見られた。しかし、「そう思う」と「まあそう思う」の数値が拮抗する項目も多く、「そう思う」の比率をさらに高められるよう、今後も改善が必要である。

次に、自由記述からは、受講者からの指摘にもあったように、今回はいつもと違って、映像資料を活用することができなかった。また、授業の冒頭で前回の復習に時間を取り過ぎてしまうと、最後に受講者がコメントカードを書く時間にしわ寄せが来てしまうことになりがちである。受講者が意見交換できる機会や、具体例を取り上げて検討する機会等も大事であり、もっと取り入れられると良かった。これらは、反省点である。

今年度の本授業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で様々な制約もあり、後半の遠隔授業への対応等、苦労もあった。そのような状況の中で受講してくださった受講者のみなさんに感謝するとともに、アンケートの結果を活かして、引き続き、授業改善に努めていきたい。